



年頭のご挨拶



明けましておめでとうございます。

旧年中は大変お世話になりました。本年も宜しく願い申し上げます。

昨年は、新型コロナウイルスの感染拡大により、経済活動や企業業績が大きな影響を受け、働き方のスタイルや生活様式など様々な面で変革を求められた1年でした。また、米中貿易摩擦が続く中、米国の大統領選挙の結果を受けて、世界の政治・経済などへの米国の今後の関わり方に注目が集まっています。

金融、経済、社会の情勢が不透明な環境下で、企業にとっては手元資金の充実、財務体質健全化が重要課題となりました。この結果、昨年の社債発行額は高水準を維持し、劣後性の資金調達を活用する例も多く見られました。また、ESGに関する意識が高まり、幅広い業界の発行体がESG関連の資金調達に取り組み、投資家のすそ野も一層の広がりを見せています。

このような状況の中、JCRでは、信用格付、ハイブリッド調達の資本性評価、サステナブルファイナンス評価など多面的な業務を通じ、発行体、投資家の皆様のニーズに対応してまいりました。グローバル化にも積極的に取り組んでおり、EU 離脱後の英国においても格付会社規制における証明を受け、引き続き適格格付機関となっています。

いまだ経済の不透明感は払しょくされていないものの、多くの企業で現在の厳しい状況を克服するために様々な施策への取り組みがなされています。JCRでは、引き続き、アナリストの知見を生かした精緻な分析を行い、それをわかりやすくタイムリーに情報発信することに努めます。これらの活動を通じ、国内外の発行体、投資家の皆様からの信頼と期待に応え、金融市場への貢献をさらに高めてまいります。

本年も引き続き、JCRを宜しく願い申し上げます。

2021年1月1日

株式会社日本格付研究所 代表取締役社長

高木 祥吉

